

事前のお知らせ



この夏でめざせ！防災博士！

～ 夏休み子どもカリキュラムを実施 ～

と き 8月6日(水)、7日(木) 午後2時～4時

と ころ 練馬区立防災学習センター (練馬区光が丘6-4-1)

8月6日、7日の2日間、区立防災学習センターで、区内の小学校4年生から6年生を対象に「夏休み子どもカリキュラム」を開催する。子どもたちの防災に関する意識を高めることが目的。

このカリキュラムは、区が行う「ねりま防災カレッジ」事業の一環として行われており、今年度から始まった事業。

初日は、地震などの自然災害や防災に関する講義のほかに、楽しみながら学ぶ防災クイズや、身近なもので防災用品を作る工作を行う。2日目は避難所体験や、学んだ防災知識を防災カルタで競い合うカリキュラムを行う。

前回(7月30・31日実施)は、子どもたちが防災に関する講義を真剣に聞く姿が見られ、「今日初めて知り合った者同士で、工作で雨がっぱを作成したのは楽しかった」、「防災カルタ取りのときに、勉強した品物のカードが出て、使い道が言えたので嬉しかった」、「また参加したいです」との意見が多かった。



(講義の様子)



(防災カルタ取りの様子)
(写真は前回実施のもの)

1 事業概要

練馬区は、平成26年4月の「練馬区立防災学習センター」開設に伴い、区民等に防災に関する研修や活動の支援を行う「ねりま防災カレッジ」事業を本格実施している。「夏休み子どもカリキュラム」はこの事業の一つとして、今年度初めて実施する。50名の定員のところ、第1期60名、第2期54名の申し込みがあり、全員を受講生として受け入れた。

1日目は、災害や防災に関する知識を学ぶ講義と楽しみながら防災の知識を学ぶ防災クイズ、そして身近なもので作れる防災用品等について子どもたち自身で工作を行う。

2日目は、室内運動場を使って、実際に避難所での生活を体験する講座と、防災カルタで学んだことを復習し、家庭での防災対策をどのように行うかを考える振り返りを行う。

2 練馬区立防災学習センター

ねりま防災カレッジ計画に位置付けた、以下の5つの機能に即した事業を展開する中心拠点として、平成26年4月1日に開設した。

- (1) 研修...人材育成を行う研修機関としての機能
- (2) 学習・教育...実際に役立つ知識・技術の習得ができる学習・教育機関としての機能
- (3) 調査・広報...知識や情報の収集・発信を行う調査・研究、広報機関としての機能
- (4) 支援...地域の活動を助ける支援機能
- (5) 場や機会の提供...訓練や交流会・各種イベントなど、場や機会を提供する機能